

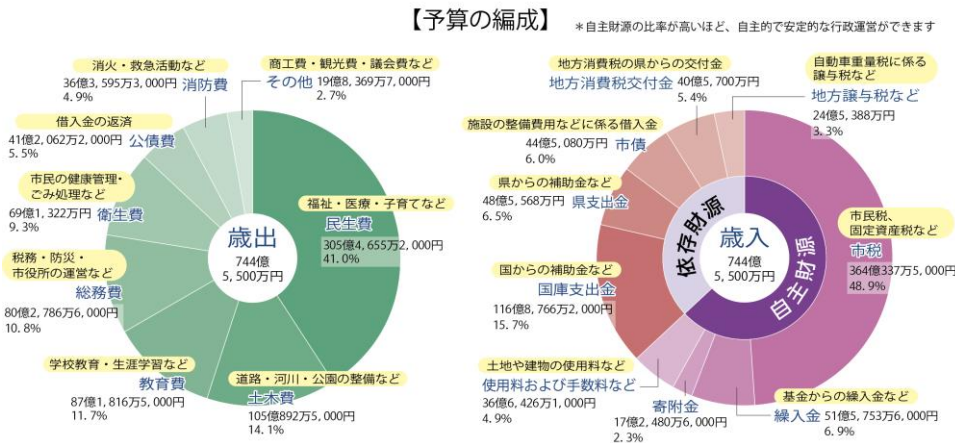
議会報告会（予算特別委員会）

委員会名	令和6年度一般会計予算等審査特別委員会
開催日時	令和6年（2024年）5月18日（土）午前10時から午前11時30分まで 令和6年（2024年）5月20日（月）午後7時30分から午後9時まで
開催場所	議会全員協議会室ほか
出席議員	後藤吾郎（委員長）、納所輝次（副委員長）、高野洋一、日向慎吾、井上三華子、くりはらえりこ、中村聡一郎
報告内容	（件名及び審査概要） 一般会計予算等審査特別委員会では、令和6年度鎌倉市一般会計予算など22議案を審査いたしました。 まず、令和6年度の予算の概要です。引用資料も是非ご覧ください。 令和6年度予算は、これまでの令和4年度「ミライツクル予算」、令和5年度「ミライへ育む予算」の流れをくむ「ミライへはばたく予算」として編成したとのことです。 一般会計の予算額は744億5500万円、6特別会計予算の合計額は529億997万7000円で、予算総額は1273億6497万7000円となっており、令和5年度の当初予算と比べ、約75億円、6.3%の増となっています。 増額の主な理由は、児童手当や障害者福祉に係る扶助費の増額、給食室冷暖房設備設置工事や高機能消防指令センター設備更新などの投資的経費の増額によるものです。 「ミライへはばたく予算」は4本柱として「こどもまんなか社会の実現」「共生社会のさらなる推進」「市民が日々安心して暮らせる環境の構築」「鎌倉を楽しみ、満足できる空間の整備」を掲げています。 「こどもまんなか社会の実現」については、保育士等の確保に向けた補助や妊産婦健康診査費用の補助、自習スペース「わかたま」や校内フリースペースの整備など、鎌倉で生まれ、育ってよかったと思える環境の構築を図るための様々な事業を実施するとしています。 「共生社会のさらなる推進」については、ケアラー支援条例が提案され、全てのケアラーが安心して自分らしく暮らすことのできる共生社会の実現を目指しケアラーの早期発見や相談・伴走支援などを実施するとのことです。 「市民が日々安心して暮らせる環境の構築」については、市役所新庁舎の整備に向けた事業のほか、元日の能登半島地震の発生を受け、災害時の備蓄品の確保、津波避難体制の強化やがけ崩れ防止対策、木造住宅の耐震相談・耐震改修の促進など、今回の議会報告会のテーマに関連する防災・災害対策関係の事業の充実を図っていくとのことです。 「鎌倉を楽しみ、満足できる空間の整備」については、観光客の分散化などによるオーバーツーリズム対策などのほか、安定的なごみ処理体制の構築などを進めるとのことです。 委員会では、これら令和6年度予算を構成する様々な事業に対して、委員から多くの質疑が行われました。 また、審査後に委員会として意見を付したもののうち、今回の議会報告会のテーマに関連する内容として、津波避難誘導表示を全国統一規格に沿うものとする、津波避難建築物の標識を再設置するに当たり、施設管理者と

津波避難施設としての利用について調整を図ることを求めるという意見を、また、防災体制を強化するために地域の力を生かすとともに、行政として日常的に地域と連携することが必要であるため、防災の取組を進める職員の配置を行うなど、防災体制の充実を求めるという意見を述べました。

令和6年度予算には、新庁舎整備に向けた基本設計等を進める予算が計上されましたが、市役所の位置を定める条例の改正前に基本設計等を先に行うという事業手順の変更について市民・議会へのさらなる説明と対話の充実が求められました。予算案の採決に当たり、一部委員からこの基本設計等の予算を削除する修正案が提出されましたが、賛成少数で否決されました。

予算議案は原案の通り可決され、本会議においても可決されました。
以上で報告を終わります。



引用資料 令和6年度鎌倉市一般会計予算等の編成について
(広報かまくら令和6年5月1日号より抜粋)